

貸家組合法

財人ハ之ヲ取戻スコトヲ得

第八十二條 法人ノ解散及ヒ清算ハ裁判所ノ監督ニ屬ス

裁判所ハ何時ニテモ職權ヲ以テ前項ノ監督ニ必要ナル検査ヲ爲スコトヲ得

第八十三條 清算カ終了シタルトキハ清算人ハ之ヲ主務官廳ニ届出ソルコトヲ要ス

非訟事件手續法

第三十六條 裁判所ハ特ニ選任シタル者ヲシテ法人ノ監督ニ必要ナル検査ヲ爲サシムルコトヲ得

第三十七條ノ二 第二百二十九條ノ三及ヒ第二百二十九條ノ四ノ規定ハ裁判所カ法人ノ清算人又ハ第三十六條ノ規定ニ依リ検査ヲ爲スヘキ者ヲ選任シタル場合ニ之ヲ準用ス

第二百二十九條ノ三 商法第七十三條第一項、第八十一條第一項、第二百九十四條第一項又ハ第三百五十三條第一項ノ規定ニ依リ裁判所カ検査役ヲ選任シタル場合ニ於テハ會社ヲ

シテ之ニ報酬ヲ與ヘシムルコトヲ得其額ハ取締役及ヒ監査役ノ陳述ヲ聽キ裁判所之ヲ定ム

第二百二十九條ノ四 前二項ノ裁判ニ對シテハ即時抗告ヲ爲スコトヲ得

第三百三十六條(一項)

合名會社及ヒ合資會社ノ清算ニ關スル事件ハ會社ノ本店所在地ノ區裁判所ノ管轄トス

第三百三十七條

清算人ノ選任又ハ解任ノ裁判ニ對シテハ不服ヲ申立ツルコトヲ得ス裁判所カ銀行又ハ無盡業若ハ無盡管理業ヲ營ム會社ノ清算ノ監督ニ付キ爲シタル命令ニ對シ亦同シ

第三百三十八條

左ニ掲ケタル者ハ清算人トシテ之ヲ選任スルコトヲ得ス

- 一 未成年者
- 二 禁治產者及ヒ準禁治產者
- 三 剝奪公權者及ヒ停止公權者
- 四 裁判所ニ於テ解任セラレタル清算人
- 五 破產者

產業組合法

ラシテ日出ヨリ日沒迄ノ間貸家其ノ他ノ場所ニ臨檢シ帳簿其ノ他ノ物件ヲ検査セシムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ當該官吏ヲシテ臨檢検査セシムル場合ニ於テハ其ノ身分ヲ證スル證票ヲ携帯セシムベシ

第三十六條 行政官廳必要アリト認ムルトキハ貸家組合ニ對シ經費ノ收支豫算、其ノ分賦收入方法、定款又ハ第三條ノ規程ノ變更ヲ命ズルコトヲ得

第三十七條 貸家組合ノ事業若ハ組合財産ノ狀況ニ依リ其ノ事業ノ繼續ヲ困難ナリト認ムルトキ又ハ組合ノ行爲ガ法令、定款若ハ行政官廳ノ命令ニ違反シタルトキ若ハ公益ヲ害スル虞アルトキハ行政官廳ハ左ノ處分ヲ爲スコトヲ得

- 一 總會ノ決議ノ取消
- 二 役員ノ解任
- 三 組合ノ事業ノ停止
- 四 組合ノ解散

第八章 貸家組合聯合會

第三十四條 行政官廳ハ貸家組合ニ對シ事業及財産ノ狀況ニ關シ報告ヲ爲サシメ、検査ヲ爲シ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第三十五條 第五條ノ規定ニ依ル命令アリタル場合ニ於テ行政官廳必要アリト認ムルトキハ當該官吏

貸家組合法

第七十條 清算人ハ其ノ職務ノ範圍内ニ於テ理事ト同一ノ權利義務ヲ有ス

第七十一條 清算人ハ就職後遲滯ナク組合財産ノ現況ヲ調査シ財産目錄及貸借對照表ヲ作り之ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第七十二條 清算人ハ組合ノ債務ヲ辨濟シ又ハ辨濟ニ必要ナル金額ヲ供託スルニ非サレハ組合財産ヲ分配スルコトヲ得ス

第七十三條 清算事務カ終リタルトキハ清算人ハ遲滯ナク決算報告書ヲ作り之ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第七章 監督

第三十四條 行政官廳ハ貸家組合ニ對シ事業及財産ノ狀況ニ關シ報告ヲ爲サシメ、検査ヲ爲シ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第三十五條 第五條ノ規定ニ依ル命令アリタル場合ニ於テ行政官廳必要アリト認ムルトキハ當該官吏

貸家組合法

二一七

第三十八條 貸家組合聯合會ハ所屬ノ貸家組合及貸家組合聯合會ノ共同ノ目的ヲ達スル爲之ヲ設立スルコトヲ得

聯合會ハ貸家組合又ハ貸家組合聯合會ヲ以テ之ヲ組織ス
聯合會ハ法人トス

第三十九條 貸家組合聯合會ヲ設立セントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ所屬ノ各組合及聯合會ニ於テ選任スル創立委員ハ創立委員會ヲ開キ定款其ノ他必要ナル事項ヲ定メ役員ヲ選任シ行政官廳ニ設立ノ認可ヲ申請スベシ

第四十條 貸家組合ニ關スル規定(第十條及第二十九條ノ規定並ニ第二十七條ノ規定ニ依リ準用スル産業組合法第三十八條ノ二ノ規定ヲ除ク)並ニ産業組合法第七十七條第三項、第七十八條及第七十九條第一項ノ規定ハ貸家組合聯合會ニ之ヲ準用ス但シ第二條、第三條及第五條中組合員トアルハ所屬ノ組合、聯合會及組合員、第十三條第一項中設立同意者(發起人ヲ含ム以下同ジ)又ハ設立同意

者タル法人ノ業務ヲ執行スル役員トアルハ所屬ノ組合及聯合會ノ理事又ハ監事、第十五條第一項中設立同意者トアルハ所屬ノ組合及聯合會、第二十三條第二項中組合員又ハ組合員タル法人ノ業務ヲ執行スル役員トアルハ所屬ノ組合及聯合會ノ理事又ハ監事トス

産業組合法

第七十七條(三項) 産業組合聯合會ノ所屬組合及所屬聯合會ノ保證責任ハ其ノ出資總額ノ範圍内ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第七十八條 産業組合又ハ産業組合聯合會カ産業組合聯合會ニ加入シ又ハ脱退セムトスルトキハ總會ノ決議ニ依ルヘシ

第二十八條ノ規定ハ前項ノ決議ニ之ヲ準用ス
第七十九條(第一項) 産業組合聯合會ノ區域ハ特別ノ事由アルヲ除クノ外道府縣ノ區域内ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第九章 貸家組合及貸家組合聯合會

第四十條 罰則

第四十三條 左ノ場合ニ於テハ貸家組合ノ理事、監事又ハ清算人ヲ五百圓以下ノ過料ニ處ス

- 一 本法ニ依リ行政官廳ノ認可ヲ受クベキ場合ニ於テ其ノ認可ヲ受ケザルトキ
- 二 本法ニ基キテ發スル勅令ニ違反シ登記ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ登記ヲ爲シタルトキ
- 三 行政官廳若ハ裁判所又ハ總會若ハ總代會ニ對シ不實ノ申立ヲ爲シ又ハ事實ヲ隱蔽シタルトキ
- 四 本法ニ依リ行政官廳又ハ裁判所ノ爲ス検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタルトキ
- 五 本法ニ依リ行政官廳ノ徵スル報告ヲ差出サズ其ノ他行政官廳ノ命令又ハ處分ニ從ハザルトキ
- 六 本法ニ違反シ總會又ハ總代會ノ招集ヲ怠リタルトキ
- 七 本法ニ違反シ書類ヲ備置カザルトキ、其ノ書類ニ記載スベキ事項ヲ記載セズ若ハ不正ノ記載ヲ爲シタルトキ又ハ正當ノ理由ナクシテ其ノ閱

第四十一條 貸家組合ハ其ノ組合員ニ對シ貸室ノ供給ヲ圓滑ナラシメ及組合員ノ貸室ノ經營ノ適正ヲ圖ルコトヲ目的トス
貸家組合ハ貸室ノ所有者及貸室ノ所有者ニ非ズシテ貸室ノ經營ヲ爲ス者ヲ以テ之ヲ組織ス
貸家組合ハ法人トス
貸家組合ニ關スル規定ハ貸室組合ニ之ヲ準用ス
貸室及貸室ノ所有者ニ非ズシテ貸室ノ經營ヲ爲ス者ノ範圍ニ關シ必要ナル事項ハ命令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十二條 貸室組合聯合會ハ所屬ノ貸室組合及貸室組合聯合會ノ共同ノ目的ヲ達スル爲之ヲ設立スルコトヲ得
聯合會ハ貸室組合又ハ貸室組合聯合會ヲ以テ之ヲ組織ス
聯合會ハ法人トス
貸家組合聯合會ニ關スル規定ハ貸室組合聯合會ニ之ヲ準用ス

覽ヲ拒ミタルトキ

八 本法ニ違反シ組合員ノ持分ヲ拂戻シタルトキ

九 本法ニ違反シ組合ガ組合員ノ持分ヲ取得シ又ハ質權ノ目的トシテ之ヲ受ケタルトキ

十 本法ニ違反シ破産ノ宣告ヲ請求セザルトキ

十一 本法ニ違反シ出資一口ノ金額若ハ保證金額ヲ減少シ、第三十一條ノ規定ニ依リ準用スル産業組合法第五十八條ノ責任期間ノ短縮ヲ爲シ又ハ組合ノ合併ヲ爲シタルトキ

十二 本法ニ違反シ公告ヲ爲スコトヲ怠リ又ハ不正ノ公告ヲ爲シタルトキ

十三 清算ノ場合ニ於テ本法ニ違反シ辨濟ヲ爲シ又ハ組合財産ノ分配ヲ爲シタルトキ

十四 法令又ハ定款ニ違反シ剩餘金ヲ處分シタルトキ

十五 組合ノ目的ニ非ザル營利事業ヲ爲シタルトキ

第四十四條 第六條第二項ノ規定(第四十條、第四十一條第四項及第四十二條第四項ノ規定ニ依リ準

用スル場合ヲ含ム)ニ違反シタル者ハ二百圓以下ノ過料ニ處ス

第四十五條 第五條ノ規定(第四十條、第四十一條第四項及第四十二條第四項ノ規定ニ依リ準用スル場合ヲ含ム)ニ依ル行政官廳ノ命令ニ違反シタル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

法人又ハ人ノ代理人、戸主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ貸家又ハ貸室ノ經營ニ關シ前項ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ其ノ法人又ハ人ハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第四十六條 前條ノ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第四十七條 正當ノ理由ナクシテ第三十五條第一項ノ規定(第四十條、第四十一條第四項及第四十二條第四項ノ規定ニ依リ準用スル場合ヲ含ム)ニ依

ル當該官吏ノ臨檢又ハ検査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第四十八條 貸家組合ノ理事、監事又ハ清算人其ノ職務ニ關シ賄賂ヲ收受シ又ハ之ヲ要求若ハ約束シタルトキハ二年以下ノ懲役ニ處ス因テ不正ノ行爲ヲ爲シ又ハ相當ノ行爲ヲ爲サザルトキハ五年以下ノ懲役ニ處ス

前項ノ場合ニ於テ收受シタル賄賂ハ之ヲ沒收ス若シ其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハザルトキハ其ノ價格ヲ追徴ス

第四十九條 前條第一項ニ掲グル者ニ對シ賄賂ヲ交付、提供又ハ約束シタル者ニハ二年以下ノ懲役又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

前項ノ罪ヲ犯シタル者自首シタルトキハ出ノ刑ヲ減輕又ハ免除スルコトヲ得

第五十條 第四十八條二掲グル罪ハ刑法第四條ノ例ニ從フ

附 則

第五十一條 本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

貸家組合法

(昭和十六年勅令第七百三十九號ヲ以テ同年七月七日ヨリ施行ス)

第五十二條 本法施行ノ際貸家組合ニ非ズシテ貸家組合ナル名稱ヲ用フル者ハ本法施行後六月以内ニ其ノ名稱ヲ變更スルコトヲ要ス

第五十三條 第四十四條ノ規定ハ前條ノ期間内之ヲ前條ニ掲グル者ニ適用セズ

第五十四條 登録稅法中左ノ通改正ス
第十九條中「第十一號、」ノ下ニ「第十一號ノ三、」ヲ加フ

同條第七號中「又ハ自動車運送事業組合聯合會」ヲ「自動車運送事業組合聯合會、貸家組合、貸家組合聯合會、貸室組合又ハ貸室組合聯合會」ニ、「又ハ自動車交通事業法」ヲ「自動車交通事業法又ハ貸家組合法」ニ改ム

同條第十一號ノ次ニ左ノ二號ヲ加フ
十一ノ二 貸家組合又ハ貸室組合カ貸家又ハ貸室用建物ノ供給ノ爲ニスル抵當權ノ取得ノ登記

十一ノ三 貸家若ハ貸室用建物又ハ其ノ用地ニ付貸家組合員又ハ貸室組合員カ其ノ所屬組合ヨリノ權利ノ取得ノ登記

第五十五條 印紙税法中左ノ通改正ス

第四條第一項第十二號中「又ハ自動車運送事業組合聯合會」ヲ「自動車運送事業組合聯合會、貸家組合、貸家組合聯合會、貸室組合又ハ貸室組合聯合會」ニ改ム

第五十六條 特別法人税法中左ノ通改正ス

第二條第一號ノ次ニ左ノ一號ヲ加フ

一ノ二 貸家組合、貸家組合聯合會、貸室組合及貸室組合聯合會

貸家組合登記令

(昭和十六年七月四日勅令第七百四十號)

貸家組合登記令

第一條 貸家組合ノ設立ノ登記ハ出資ノ第一回ノ拂込アリタル日ヨリ二週間以内ニ之ヲ爲スコトヲ要ス

設立ノ登記ニハ左ノ事項ヲ掲グルコトヲ要ス

- 一 目的
- 二 名稱
- 三 地區
- 四 事務所
- 五 出資ノ總口數及拂込ミタル出資ノ總額
- 六 出資一口ノ金額及其ノ拂込ノ方法
- 七 貸家組合法第十九條第二項ノ規定ニ依ル貸家組合ニ在リテハ各組合員ノ氏名又ハ名稱、住所及保證金額
- 八 理事及監事ノ氏名及住所

九 存立ノ時期又ハ解散ノ事由ヲ定メタルトキハ其ノ時期又ハ事由

貸家組合ハ設立ノ登記ヲ爲シタル後二週間以内ニ從タル事務所ノ所在地ニ於テ前項ニ掲グル事項ヲ登記スルコトヲ要ス

第二條 貸家組合ノ成立後從タル事務所ヲ設ケタルトキハ主タル事務所ノ所在地ニ於テハ二週間以内ニ從タル事務所ヲ設ケタルコトヲ登記シ其ノ從タル事務所ノ所在地ニ於テハ三週間以内ニ前條第二項ニ掲グル事項ヲ登記シ他ノ從タル事務所ノ所在地ニ於テハ同期間内ニ其ノ從タル事務所ヲ設ケタルコトヲ要ス

主タル事務所又ハ從タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル登記所ノ管轄區域内ニ於テ新ニ從タル事務所ヲ設ケタルトキハ其ノ從タル事務所ヲ設ケタルコトヲ登記スルヲ以テ足ル

第三條 貸家組合主タル事務所ヲ移轉シタルトキハ舊所在地ハ於テハ二週間以内ニ移轉ノ登記ヲ爲シ新所在地ニ於テハ三週間以内ニ第一條第二項ニ

貸家組合登記令

二二三

掲グル事項ヲ登記シ從タル事務所ヲ移轉シタルトキハ舊所在地ニ於テハ三週間以内ニ移轉ノ登記ヲ爲シ新所在地ニ於テハ四週間以内ニ第一條第二項ニ掲グル事項ヲ登記スルコトヲ要ス

同一ノ登記所ノ管轄區域内ニ於テ主タル事務所又ハ從タル事務所ヲ移轉シタルトキハ其ノ移轉ノ登記ヲ爲スルヲ以テ足ル

第四條 第一條第二項ニ掲グル事項中ニ變更ヲ生ジタルトキハ主タル事務所ノ所在地ニ於テハ二週間、從タル事務所ノ所在地ニ於テハ三週間以内ニ變更ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス但シ同條同項第五號ニ掲グル事項ニ付テハ每事業年度末日ノ現在ニ依リ事業年度終了後一月以内ニ登記ヲ爲スコトヲ得

第五條 貸家組合ガ解散シタルトキハ合併及破産ノ場合ヲ除ク外主タル事務所ノ所在地ニ於テハ二週間、從タル事務所ノ所在地ニ於テハ三週間以内ニ解散ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第六條 貸家組合ガ合併ヲ爲シタルトキハ主タル事務所ノ所在地ニ於テハ二週間、從タル事務所ノ所

在地ニ於テハ三週間以内ニ合併後存続スル組合ニ於テハ變更ノ登記、合併ニ因リテ消滅スル組合ニ付テハ解散ノ登記、合併ニ因リテ設立シタル組合ニ付テハ第一條第二項ニ掲グル事項ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第七條 貸家組合ハ清算人就職ノ日ヨリ主タル事務所ノ所在地ニ於テハ二週間、從タル事務所ノ所在地ニ於テハ三週間以内ニ清算人ノ氏名及住所ヲ登記スルコトヲ要ス

第四條本文ノ規定ハ前項ノ登記ニ之ヲ準用ス

第八條 貸家組合ノ清算ガ終了シタルトキハ貸家組合法第三十三條ノ規定ニ依リ準用スル産業組合法第七十三條ノ承認アリタル日ヨリ主タル事務所ノ所在地ニ於テハ二週間、從タル事務所ノ所在地ニ於テハ三週間以内ニ清算終了ノ登記ヲ爲スコトヲ要ス

第九條 貸家組合ノ登記ニ付テハ其ノ事務所ノ所在地ヲ管轄スル區裁判所ヲ以テ管轄登記所トス各登記所ニ貸家組合登記簿ヲ備フ

第十條 貸家組合ノ設立ノ登記ハ理事及監事ノ全員ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

前項ノ登記ノ申請書ニハ定款、創立總會ノ決議録ノ謄本、出資ノ總口數ヲ證スル書面、出資ノ第一回ノ拂込アリタルコトヲ證スル書面及申請人ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第一項ノ登記ノ申請書ニハ合併ニ因ル設立ノ場合ニ在リテハ前項ニ掲グル書類ノ外貸家組合法第三十二條ノ規定ニ依リ準用スル産業組合法第四十條及第四十一條ノ規定ニ依リ公告及催告ヲ爲シタルコト並ニ異議ヲ述べタル債權者アル場合ニ於テハ之ニ對シ辨濟ヲ爲シ又ハ相當ノ擔保ヲ供シタルコトヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第十一條 第一條第三項ノ規定ニ依ル登記ハ理事ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

第十二條 貸家組合ノ事務所ノ新設又ハ事務所ノ移轉其ノ他第一條第二項ニ掲グル事項ノ變更ノ登記ハ理事及ハ清算人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス但シ主タル事務所ノ所在地ニ於テ合併、組織變更又ハ出

資一口ノ金額若ハ保證金額ノ増加若ハ減少ニ因ル變更ノ登記ヲ爲スニハ理事及監事ノ全員ノ申請ニ因ルコトヲ要ス

前項ノ登記ノ申請書ニハ事務所ノ新設又ハ事務所ノ移轉其ノ他第一條第二項ニ掲グル事項ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第十條第三項ノ規定ハ合併、組織變更ニ因ル組合員ノ責任ノ減少又ハ出資一口ノ金額若ハ保證金額ノ減少ニ因ル變更ノ登記ノ申請ニ之ヲ準用ス

第十三條 貸家組合ガ貸家組合法第三十二條第一號乃至第三號ノ事由ニ因リテ解散シタルトキハ解散ノ登記ハ主タル事務所ノ所在地ニ於テハ理事及監事ノ全員ノ申請ニ因リ、從タル事務所ノ所在地ニ於テハ理事ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

前項ノ登記ノ申請書ニハ解散ノ事由ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第十條第三項ノ規定ハ合併ニ因ル解散ノ登記ノ申請ニ之ヲ準用ス

貸家組合ガ貸家組合法第三十七條第四號ノ行政官

貸家組合登記令

應ノ處分ニ因リテ解散シタルトキハ解散ノ登記ハ行政官應ノ囑託ニ因リテ之ヲ爲ス

第十四條 第七條ノ規定ニ依ル登記ハ清算人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

第七條第一項ノ規定ニ依ル登記ノ申請書ニハ理事ガ清算人タラザル場合ニ於テハ申請人ノ資格ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第七條第二項ノ規定ニ依ル登記ノ申請書ニハ其ノ變更ヲ證スル書面ヲ添附スルコトヲ要ス

第十五條 貸家組合ノ清算終了ノ登記ハ清算人ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

第十六條 第一條乃至前條ノ規定ハ貸家組合、貸家組合聯合會及貸家組合聯合會ノ登記ニ之ヲ準用ス

第十七條 登記スベキ事項ニシテ行政官應ノ認可ヲ要スルモノハ其ノ認可書ノ到達シタル時ヨリ登記ノ期間ヲ起算ス

第十八條 登記シタル事項ハ裁判所ニ於テ遲滯ナク之ヲ公告スルコトヲ要ス

第十九條 非訟事件手續法第四百二十二條乃至第四百五

十一條ノ六、第五百五十四條乃至第五百五十七條及第百七十八條ノ規定ハ本令ニ依ル登記ニ之ヲ準用ス

附 則

本令ハ貸家組合法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

貸家組合法施行規則

(昭和十六年七月五日厚生省令第三十四號)

貸家組合法施行規則

第一章 通 則

第一條 貸家組合法(以下法ト稱ス)ニ於テ貸家トハ専ラ又ハ他ノ用途ト併セテ住居ノ用途ニ供スル貸家ヲ謂フ

法ニ於テ貸家ノ所有者ニ非ズシテ貸家ノ經營ヲ爲ス者トハ貸家ノ所有者ニ非ズシテ權原ニ因リ自己ノ名ニ於テ貸家ノ貸付ヲ爲ス者ヲ謂フ

第二條 法ニ於テ貸室トハ専ラ又ハ他ノ用途ト併セテ住居ノ用途ニ供スル貸室ヲ謂フ

法ニ於テ貸室ノ所有者ニ非ズシテ貸室ノ經營ヲ爲ス者トハ貸室ノ所有者ニ非ズシテ權原ニ因リ自己ノ名ニ於テ貸室ノ貸付ヲ爲ス者ヲ謂フ

第三條 法(第十章ヲ除ク)中行政官廳トアルハ地

方長官トス但シ法第三十四條ノ規定(法第四十條、第四十一條第四項及第四十二條第四項ノ規定ニ依リ準用スル場合ヲ含ム)中行政官廳トアルハ厚生大臣又ハ地方長官トス

本令ニ於テ地方長官トハ貸家組合、貸家組合聯合會、貸室組合又ハ貸室組合聯合會ノ主タル事務所ノ所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ謂フ

第二章 貸家組合

第四條 貸家組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ法第二條第一項第三號ノ貸家幹旋所ヲ設置スル場合ニ於テハ總會又ハ總代會ノ議決ヲ經テ之ニ關スル規程ヲ定ムベシ其ノ規程ヲ變更セントスル場合亦同ジ前項ノ規定ニハ左ノ事項ヲ規定スベシ

- 一 幹旋ノ範圍
- 二 幹旋ノ方法
- 三 幹旋手數料及其ノ徵收方法
- 四 其ノ他必要ナル事項

第五條 貸家組合ハ組合員ニ對シ其ノ貸家建設ノ必

貸家組合法施行規則

要ナル資金ノ貸付又ハ組合員ノ爲ニスル其ノ貸家建設ニ關スル債務ノ保證ヲ爲サントスルトキハ總會又ハ總代會ノ議決ヲ經テ地方長官ノ承認ヲ受クベシ

第六條 貸家組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ法第二條第一項第一號乃至第三號ノ施設ヲ組合員ニ非ザル者ヲシテ利用セシムル場合ニ於テハ總會又ハ總代會ノ議決ヲ經テ之ニ關スル規程ヲ定ムベシ其ノ規程ヲ變更セントスル場合亦同ジ

- 一 利用セシムル施設ノ種類
- 二 利用セシムル方法
- 三 利用料及其ノ徵收方法
- 四 其ノ他必要ナル事項

第七條 地方長官法第五條ノ規程ニ依リ貸家組合ノ組合員又ハ其ノ組合ノ組合員ニ非ズシテ其ノ組合ノ地區内ニ於テ組合員タル資格ヲ有スル者ニ對シ其ノ組合ノ統制ニ從フベキコトヲ命ゼントスルトキハ豫メ其ノ組合、組合ノ統制ニ從フベキ者ノ資

格、其ノ從フベキ事項、其ノ實施期日其ノ他必要ナル事項ヲ定メ之ヲ告知スベシ

第八條 貸家組合ノ發起人ハ其ノ組合ノ地區タルベキ地域内ニ於テ組合員タル資格ヲ有スル者ナルコトヲ要ス

第九條 貸家組合ヲ設立セントスルトキハ發起人ハ左ノ事項ヲ記載シタル設立趣意書ヲ作成シ地方長官ノ承認ヲ受ケタル後之ヲ組合員タル資格ヲ有スル者ニ提示シテ其ノ同意ヲ求ムベシ

一 地區
二 出資一口ノ金額及其ノ拂込ノ方法
三 法第十九條第二項ノ規定ニ依ル保證金額ヲ定メントスルトキハ其ノ旨竝ニ其ノ總額及保證金額ヲ定ムル方法

四 法第二十條ノ規定ニ依ル經費ノ分賦ヲ爲サントスルトキハ其ノ旨及其ノ分賦收入方法
五 事業計畫ノ概要

設立ノ同意ハ發起人ノ作成シタル設立同意書ニ記名捺印スルコトニ依リテ之ヲ爲スコトヲ要ス

タル書面ヲ以テ之ニ代フ、定款、創立總會ノ決議録ノ謄本及左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添附スベシ

一 事業計畫ノ概要

二 組合ノ負擔ニ歸スベキ創立費及其ノ償却方法

三 引受アリタル出資ノ總口數

四 法第十九條第二項ノ規定ニ依ル組合ニ在リテハ引受アリタル保證金額ノ總額

五 法第二十條ノ規定ニ依リ經費ヲ組合員ニ分賦スル組合ニ在リテハ其ノ經費ノ初年度ノ收支豫算及分賦收入方法

六 理事及監事ノ氏名及住所

第十五條 法第十三條第二項又ハ第二十三條第三項ノ規定ニ依ル理事又ハ監事ノ選任ノ認可申請書ニハ理事又ハ監事ノ履歷書及創立總會、總會又ハ總代會ノ決議録ノ謄本ヲ添附スベシ

第十六條 貸家組合ノ理事、監事其ノ他ノ役員又ハ清算人ノ受クベキ給與ハ定款又ハ創立總會、總會若ハ總代會ノ議決ヲ以テ之ヲ定ムベシ

第十條 法第十條第一項ノ規定ニ依リ貸家組合ノ設立ニ付同意ヲ要スル者ノ數ハ土地ノ情況其ノ他ノ事情ニ因リ必要アル場合ニ於テ發起人ガ豫メ地方長官ノ承認ヲ受ケタルトキハ之ヲ百人迄減ズルコトヲ得

第十一條 法第十條第二項ノ規定ニ依ル創立總會召集ノ認可申請書ニハ組合員タル資格ヲ有スル者ノ數ヲ記載シタル書面及設立同意者（發起人ヲ含ム以下同ジ）ノ數ヲ證スル書面ヲ添附スベシ

第十二條 發起人創立總會ヲ召集セントスルトキハ設立同意者ニ對シ少クトモ一週間前ニ會議ノ日時、場所及目的タル事項ヲ通知スベシ

第十三條 貸家組合ノ負擔ニ歸スベキ創立費ニ付テハ創立總會ノ決定ヲ受クベシ

前項ノ創立費ノ償却方法ハ創立總會ニ於テ之ヲ議決スベシ

第十四條 貸家組合ノ設立ノ認可申請書ハ所定ノ設立同意者アリタルコトヲ證スル書面（法第十條第二項ノ規定ニ依ル場合ニ在リテハ其ノ旨ヲ記載シ

第十七條 總代會ハ組合員五百人以上ノ貸家組合ニ非ザレバ之ヲ設クルコトヲ得ズ

總代會ハ組合員中ヨリ選舉シタル總代ヲ以テ之ヲ組織ス

總代ノ定數、任期及選舉ニ關スル規定ハ定款ヲ以テ之ヲ定ムベシ

第十八條 定款變更ノ認可申請書ニハ總會又ハ總代會ノ決議録ノ謄本ヲ添附スベシ

定款ノ變更ガ出資一口ノ金額若ハ保證金額ノ減少又ハ法第三十一條ノ規定ニ依リ準用スル産業組合法第五十八條ノ責任期間ノ短縮ニ關スルモノナルトキハ其ノ認可ノ申請書ニハ前項ニ掲グル書面ノ外財産目錄及貸借對照表ヲ添附スベシ

定款ノ變更ガ法第二十七條又ハ第三十一條ノ規定ニ依リ準用スル産業組合法第六十八條第一項又ハ第五十八條第二項ノ場合ニ關スルモノナルトキハ其ノ認可ノ申請書ニハ總組合員ノ同意アリタルコトヲ證スル書面ヲ添附スベシ

第十九條 剩餘金ノ配當ハ拂込ミタル出資額又ハ取

扱ヒタル物ノ數量、價額若ハ事業ノ分量ニ對スルノ外之ヲ爲スコトヲ得ズ
拂込ミタル出資額ニ對スル剩餘金配當ノ率ハ年六分ヲ超ユルコトヲ得ズ但シ特別ノ事由アルトキハ地方長官ノ承認ヲ受ケ年一割迄之ヲ増加スルコトヲ得

第二十條 貸家組合ノ準備金ノ額ハ出資總額ノ四分ノ一ヲ下ルコトヲ得ズ

第二十一條 貸家組合ハ借入金ヲ爲サントスルトキハ總會又ハ總會ノ議決ヲ經テ地方長官ノ承認ヲ受クベシ

貸家組合ハ豫算内ノ支出ヲ爲ス爲前項ノ規定ニ依ラズ一時借入金ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ每事業年度ニ於テ其ノ借入額ノ最高限度ニ付總會又ハ總會ノ議決ヲ經ベシ
前項ノ借入金ハ其ノ借入ヲ爲シタル事業年度ニ於テ之ヲ償還スルコトヲ要ス

第二十二條 新ニ貸家組合ニ加入スル者ヨリ加入金ヲ徴收シ又ハ新ニ出資口數ヲ増加スル者ヨリ増口

一 第四條又ハ第六條ノ規程ヲ定メ變更シ又ハ廢止シタルトキ

二 法第三條ノ規定ニ依リ認可ヲ受ケタル規程ヲ廢止シタルトキ

三 貸家組合登記令ニ依ル登記ヲ爲シタルトキ

四 法第二十條ノ規定ニ依リ經費ヲ組合員ニ分賦スル貸家組合ニ於テ法第二十六條ノ規定ニ依リ其ノ經費ノ收支豫算及分賦收入方法ヲ定メタルトキ又ハ其ノ經費ノ收支決算ニ付總會若ハ總會ノ承認アリタルトキ

五 財産目録、貸借對照表、事業報告書及剩餘金處分案ニ付總會又ハ總會ノ承認アリタルトキ
第二十七條 法第三十五條第二項ノ證票ハ別表ニ定ムル様式ニ依ル

第三章 貸家組合聯合會

第二十八條 貸家組合聯合會ノ創立委員ハ所屬ノ各組合及聯合會ノ理事又ハ監事ヨリ之ヲ選任スベシ

金ヲ徴收スルトキハ其ノ金額ハ之ヲ準備金ニ組入レルベシ脱退シタル組合員ニ對シ持分ノ一部ヲ拂戻スベキコトヲ定メタル場合ニ於テ其ノ殘額ニ付亦同ジ

第二十三條 法第三十條第一項ノ規定ニ依ル脱退ノ豫告ハ六月前ニ書面ヲ以テ之ヲ爲スベシ但シ事業年度ヲ六月トスル貸家組合ニ在リテハ其ノ豫告ハ三月前ニ之ヲ爲スヲ以テ足ル

前項ノ規定ニ依ル豫告期間ハ定款ヲ以テ之ヲ延長スルコトヲ得ズ

第二十四條 總會ノ決議ニ因ル貸家組合ノ解散ノ認可申請書ニハ總會ノ決議録ノ謄本、財産目録及貸借對照表ヲ添附スベシ

第二十五條 貸家組合ノ合併ノ認可申請書ニハ總會ノ決議録ノ謄本、財産目録、貸借對照表、合併契約書ノ謄本及合併後存続スル組合又ハ合併ニ因リテ設立スル場合ノ定款ヲ添附スベシ

第二十六條 左ノ場合ニ於テハ貸家組合ハ遲滯ナク之ヲ地方長官ニ届出ヅベシ

前項ノ創立委員ハ所屬ノ各組合及聯合會ニ付同數トス

第二十九條 貸家組合聯合會ノ設立ノ認可申請書ニハ定款、聯合會設立ニ關スル所屬ノ各組合及聯合會ノ總會又ハ總會ノ決議録ノ謄本、創立委員會ノ決議録ノ謄本並ニ左ノ事項ヲ記載シタル書面ヲ添附スベシ

一 事業計畫ノ概要
二 聯合會ノ負擔ニ歸スベキ創立費及其ノ償却方法

三 引受アリタル出資ノ總口數
四 法第四十條ノ規定ニ依リ準用スル法第十九條第二項ノ規定ニ依ル聯合會ニ在リテハ引受アリタル保證金額ノ總額

五 法第四十條ノ規定ニ依リ準用スル法第二十條ノ規定ニ依リ經費ヲ組合員ニ分賦スル聯合會ニ在リテハ其ノ經費ノ初年度ノ收支豫算及分賦收入方法

六 理事及監事ノ氏名及住所

昭和十八年一月二十日印刷
昭和十八年一月三十日發行 (三〇〇〇)

認 承 協 文 出
ア 390235

地 所 建 物 統 制 法



配給元
東京市神田區淡路町二丁目九番地
日本出版配給株式會社

定價 金貳圓貳拾錢

著 者 尾 山 万 次 郎

發 行 者 小 泉 準 一
東京市神田區猿樂町二丁目八番地

印 刷 者 井 上 信 明
東京市神田區神保町二ノ四二

印 刷 所 太 平 社 印 刷 所
東京市神田區神保町二ノ四二
(東京三三八)

東京市神田區猿樂町二丁目八

發 行 所 天 泉 社

電話神田區二三九三番
振替東京五七〇二九番



2.20

(東京4090)